

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月24日	作成者名	浜野 康彦	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 緑と潤いのあるまち	中心となる課	環境経済部・環境課
分野	04 廃棄物・リサイクル	関係課	都市整備部・まちづくり推進課
施策	45 ごみの減量と循環型社会の構築		
施策の目的	「ゼロ・廃棄物」を目指すとともに、市民にとって潤いと安らぎのある環境を次世代に引き継いでいくための持続可能な循環型社会の実現を目指します。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	リサイクル推進事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
1日1人当たりのごみの排出量	4月1日現在の人口1人当たりの排出量 (年間総排出量/人口/365日)	g	730	898	902	875	883	895	903
一般廃棄物のリサイクル率	廃棄物再資源化の比率	%	25	23	25	25	25	26	28
届出済シールの貼付率	解体現場における届出済シール貼付の比率	%	100	42.1	81.8	72.8	100	100	100
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	一般家庭のごみの分別収集は市民にほぼ定着しており、可燃ごみの減量やリサイクル率の向上は目標を達成できている。その一方で、コロナ禍の中、ごみの総排出量は増加傾向にあり、対策が求められている。 また、市場に様々な商品が溢れている中で、リサイクル率をさらに高めることが課題である。	対応策	家庭から出る生ごみを堆肥化するため、生ごみバケツと花苗の交換や、姉妹都市である美里町との交流を通じて、生ごみの減量化を図る。 フードドライブの実施など、食品ロス削減に向けた取組を推進していく。 不用になった家具や家電製品等の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進するため、広報で「不用品登録」を周知し、市民に向けて広く不用品の活用を促していく。 プラスチックごみのリサイクルの更なる促進を検討する。
----	--	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	1日1人当たりのごみの排出量の抑制について、目標値を達成していないため、生ごみの減量、食品ロスやプラスチックごみの削減、不用品の活用などの対策に取り組んでいく必要がある。
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	コロナ禍により事業系ごみが減少する一方で、不燃ごみや粗大ごみが増加していることから、ごみの分別をさらに徹底し、3Rを促進することで、市民や事業者とともに引き続きごみの減量に取り組んでいく。

## (評価者コメント)

ごみ減量化や循環型社会の構築に向けて、市民や廃棄物取扱業者の理解・協力が必要であり、引き続き協力を求めていく。 フードドライブを通じて、食品ロスだけでなく、プラスチックごみを含めたごみの削減全般について意識啓発に取り組んでいく。
---

